



平成24年 2月 16日

中東准教授が2011年度徳川宗賢賞を受賞

大学院社会文化科学研究科（文学系）・文学部の中東靖恵准教授が2011年度（第11回）徳川宗賢賞（優秀賞）を受賞します。この賞は、社会言語科学会誌『社会言語科学』に掲載された論文の中から、特に優れた論文に授与されるものです。授与式及び記念講演は3月11日に東京都内で開催される「第29回社会言語科学会研究大会」にて行われます。

大学院社会文化科学研究科（文学系）・文学部の中東靖恵（なかとう・やすえ）准教授が、社会言語科学会の2011年度（第11回）徳川宗賢賞（優秀賞）を受賞する。

これは、論文「パラグアイ日系社会におけるアクセントの継承と変容—パラグアイの広島県人家族を対象に—」（『社会言語科学』第13巻 第2号 72頁～87頁）に対する評価である。徳川賞授与式及び記念講演は、3月11日（日）、桜美林大学（町田キャンパス）にて行われる。

中東准教授は社会言語学を専門とし、従来から、南アメリカの日系人社会における日本語の研究を続けており、本論文はその成果の一つである。

同准教授は、しばしば、南アメリカ諸国に出向き、パラグアイ、ブラジル、ボリビアなど、各国の日系人社会で調査・研究を行ってきた。また、岡山県で日系ブラジル人・ペル一人住民がとりわけ多く居住している総社市では、総社市市民環境部人権・まちづくり課（国際・交流推進係）が主催している日本語教育事業運営委員会委員を務めており、当該地域における彼女の社会貢献およびその結果としての研究成果も高く評価されている。

国際化、とりわけ地域における国際化の促進とその課題解決が不可欠な現代社会において、中東准教授の役割は大きい。

<お問い合わせ>

岡山大学文学部 中東靖恵

（電話番号）086-251-7426

（FAX番号） 同上

（E-mail） yasue@cc.okayama-u.ac.jp